

地域と大学

第35号

Newsletter No.35, Division of Regional Collaboration and Lifelong Learning

地方創生の中での地域と大学

イノベーション社会連携推進機構・地域連携生涯学習部門

特任教授（COC + 推進コーディネーター）岸本 道明

首都圏への一極集中、地方の人口減少や地域経済の衰退が続くなかで、活力ある地域づくりに向けて「地方創生」を合言葉に各方面で大きな動きがみられます。

比較的裕福で、多様な産業群があり、気候温暖で“住みやすい”とされている静岡県でも例外ではなく、人口減少が続いています。特に若い女性の流出は顕著なものがあり、県内シンクタンクの調査では、首都圏に行ったまま戻ってこない女性は7割にも及んでいるというショッキングな数字さえあります。その理由としては首都圏には働く場の多様性があり、余暇・娯楽や子育て環境など多面的な魅力がある、とされています。また、就活学生の多くが「静岡に住みたいけれど…」とは言いながらも働き場所を都市圏に求めているのが実情です。若者の地域への定着をいかにするかが大きな課題となっています。

こうした中、本学では文部科学省の「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC + =センターオブコミュニティの略）」を受けて、「静大発“ふじのくに”創生プラン」に取り組んでいます。目標は、地域活性化の牽引力となる若者を育成するとともに県内定着を促進し、あるいは新たな産業と雇用を創出していこうとするものです。静岡県をはじめとして県内35市町、金融機関や産業界など約100の機関と連携して地域志向科目やキャリアデザイン科目の導入・拡大など教育プログラムの改革を進め、また働く場所のミ

スマッチを防ぐための企業等とのインターンシップの拡充などを進めています。地域に入り込んで課題を見つけ解決していくフィールドワークの場、学外の経済界や行政からの講師による授業、さらにはインターンシップでの協力など、いずれも外部資源の活用であり、地域との連携、協力なしでは成り立ちません。

一方、連携先からは“まちづくりや賑わいづくり”、“高齢者対策”などに大学の知見や学生の力を活用したいという声が増えています。自治体では各種の地方創生事業を展開していますが、静岡市ほか中部地区5市2町で「しずおか中枢連携都市圏・地域課題解決事業」を創設しました。これは地域の課題解決方策の提言又は実践的な研究を各市町と一体となっていく大学の活動費用を助成するものですが、教員と学生の地域でのフィールドワークでの活動にも利用でき、地域と大学の密着間が一層強まると思っています。

COC+推進コーディネーターは、大学と経済界や自治体などの事業協働機関との連携を円滑化する役目を担っています。地方創生という流れのなかで、それぞれの組織の動き方を見つめ、共通する目標に向けてのつなぎ役を務めていきます。

2017年度静岡大学公開講座

静岡大学では地域社会に広く学習の機会を提供するため公開講座を開催しています。総合大学ならではの

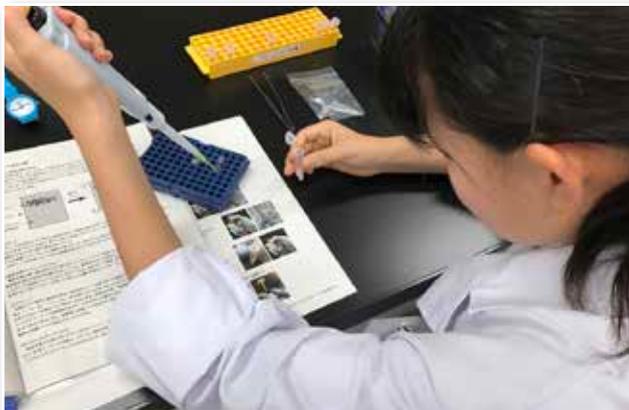
それぞれの専門分野を生かし、県内各地を会場に多彩な全21講座を開講しています。

講座名	講師	日時	会場	対象	定員	受講料	主催
中国人による中国講座 ～日本人の知らない中国～ [全8回]	人文社会科学部准教授・張 盛開 大学教育センター講師・翟 勇 法務研究科教授・朱 曄 非常勤講師・金 小賢 非常勤講師・王 元武 非常勤講師・盧 思 非常勤講師・周 佩芳	4/15(土)、5/22(月)、 6/24(土)、7/22(土)、 9/30(土)、10/28(土)、 11/25(土)、12/23(土) 13:00～15:00 5/22のみ18:00～20:00	静岡キャンパス	一般市民	80	無料	人
医療中国語 [全16回]	人文社会科学部准教授・張 盛開 非常勤講師・王 元武	4/15・22、5/20・27、 6/24、7/15・22、8/26、 9/30、10/21・28、11/4・ 25、12/23、2018.1/27、 2/10(土) 15:30～17:00	静岡キャンパス	一般市民	20	8,100	人
藤枝フィールドの散策と春の 雑草観察	農学部教授・稲垣栄洋	4/22(土) 10:00～14:00	農学部附属 地域フィールド 科学教育研究 センター藤枝 フィールド	どなたでも（小学生 以下は保護者同伴）	20	無料	農
私のミカン～ミカンの通年管理 教室～ [全5回]	技術部技術専門職員・成瀬博規 技術部技術職員・周藤美希 農学部准教授・八幡昌紀	5/9、7/11、9/12、11/14、 2018.3/6(火) 13:30～15:30	農学部附属 地域フィールド 科学教育研究 センター藤枝 フィールド	一般市民	10	10,000	技
安心登山・アウトドア活動のた めの読図とナビゲーションスキ ル（初級編）	教育学部教授・村越 真 プロアドベンチャーリーダー・宮内佐季子	5/14(日) 9:30～16:30	静岡キャンパス 及び屋外	登山・アウトドア活動 を行う一般市民	25	3,000	教
静岡大学で学ぶ春の走り方	シャローム学園・二見隆亮	5/20(土) 14:00～17:00	静岡キャンパス	一般市民（中学生 以上）	15	2,000	教
ふじのくにのホモ・サピエンス ～3万5千年前の遺跡から現 代人的行動を探る～ [全3回]	人文社会科学部准教授・山岡拓也 明治大学黒曜石研究センター研究員・池谷信之	6/17・24、7/8(土) 14:00～16:00	ブラサヴェルデ	一般市民	80	無料	イ
学んで楽しい ～大学で学ぼう～ [全3回]	静岡市消防局 職員 文京学院大学客員教授・松為信雄	6/18(日)9:30～11:30 10/15(日)9:30～11:30 13:00～15:00	静岡キャンパス	一般市民	100	無料	教
世界の名著を読む ～J・S・ミル『自由論』を読む～ [全2回]	人文社会科学部教授・井柳美紀	7/8(土)・9(日) 10:00～12:00	アイセル21	どなたでも	15	無料	人
静岡大学で学ぶ夏の走り方	シャローム学園・二見隆亮	7/22(土) 14:00～17:00	静岡キャンパス	一般市民（中学生 以上）	15	2,000	教
紅茶作りに挑戦しよう	農学部教授・稲垣栄洋 技術部技術専門職員・西川浩二 技術部技術専門職員・成瀬和子	7/27(木) 13:00～16:00	農学部附属 地域フィールド 科学教育研究 センター藤枝 フィールド	一般市民（小学生 以下は保護者同伴）	20	1,000	技
遺伝子の世界を見てみよう [全2回]	グリーン科学技術研究所准教授・道羅英夫 技術部技術職員・森内良太	8/2(水)10:00～17:00、 8/3(木)10:00～15:00	静岡キャンパス	県内高校生	20	無料	グ
体験!大学の化学実験 [全2回]	グリーン科学技術研究所教授・近藤 満 理学部講師・守谷 誠	8/19(土)・20(日) 10:00～16:00	静岡キャンパス	中学生・高校生	30	無料	グ

講座名	講師	日時	会場	対象	定員	受講料	主催
中高生のための心理学入門	人文社会科学部教授・笠井 仁 人文社会科学部教授・橋本 剛 人文社会科学部教授・幸田るみ子	8/22(火) 9:30～12:30	静岡キャンパス	中学生・高校生	50	無料	(人)
静岡大学で学ぶ秋の走り方	シャローム学園・二見隆亮	9/16(土) 14:00～17:00	静岡キャンパス	一般市民（中学生以上）	15	2,000	(教)
静岡大学キャンパスミュージアム 公開講座2017 [全4回]	理学部准教授・徳岡 徹 人文社会科学部准教授・山岡拓也 理学部准教授・石橋秀巳 ふじのくに地球環境史ミュージアム・岸本年郎	10/7・14・21・28(土) 10:00～12:00	静岡キャンパス	一般市民、学生、 小中高生（中学生以下は保護者同伴）	15	無料	(キ)
安心登山・アウトドア活動のための読図とナビゲーションスキル (中級編)	教育学部教授・村越 真 オリエンテーリング元アジアチャンピオン・小泉成行	10/9(月・祝) 9:30～16:30	静岡市郊外	過去に初級編を受講した方、又は地形図の基礎知識がある登山経験者で6-7km程度を無理なく歩ける方	20	4,000	(教)
フルーツの多様性から農業ビジネスの可能性を探ろう！ [全3回]	鳥取大学農学部教授・田村文男 農学部准教授・松本和浩 農研機構果樹茶業研究部門・吉岡照高 キウイフルーツカントリー Japan代表・平野耕志	10/13、12/1、2018.2/23 (金)14:00～17:00	健康文化交流館 「来・て・こ」	フルーツの多様性を活用した農業ビジネスの展開に興味がある方	50	無料	(農)
市民社会と法 [全5回]	法務研究科教授・阿波連正一 法務研究科教授・板倉美奈子 法務研究科教授・朱 暉 法務研究科教授・吉川真理 法務研究科教授・恒川隆生	10/21、11/11、12/9、 2018.1/20、2/10(土) 13:30～15:30	アイセル21	どなたでも	30	無料	(法)
人口知能が拓く明日の暮らし	情報学部准教授・木谷友哉 情報学部准教授・狩野芳伸 情報学部講師・中澤高師 情報学部教授・西村雅史	11/11(土) 10:30～12:00	浜松キャンパス	興味のある方ならどなたでも	100	無料	(情)
アカデミック・カフェ ロボットと共生する情報社会	情報学部講師・中澤高師 情報学部教授・岡田安功 情報学部学生・加藤史也 情報学部教授・吉田 寛	11/12(日) 13:00～15:00	浜松キャンパス	中学生・高校生・一般市民	30	無料	(情)

【主催欄凡例】

- (人) = 人文社会科学部 (教) = 教育学部 (情) = 情報学部 (農) = 農学部 (法) = 法務研究科
(キ) = キャンパスミュージアム (グ) = グリーン科学技術研究所 (技) = 技術部
(イ) = イノベーション社会連携推進機構（地域連携生涯学習部門）



遺伝子の世界をしてみよう



安心登山・アウトドア活動のための読図とナビゲーションスキル

静岡大学創立60周年記念事業を継承した連携講座

1 静岡大学・読売新聞連続市民講座「〈ヒト〉を科学する」

回	開催日	タイトル	講師	参加者
1	7/1(土)	人間の知性を探究し、デザインする	大島 純(静岡大学情報学部教授)	166
2	8/5(土)	なぜ対人関係のストレスは苦しいのか	橋本 剛(静岡大学人文社会科学部教授)	213
3	9/2(土)	コンピュータは言葉を操れるか ～人間と人工知能の自然言語処理	狩野芳伸(静岡大学情報学部准教授)	—
4	9/30(土)	食と運動を科学し健康をマネジメントしよう	竹下温子(静岡大学教育学部准教授)	—
5	10/21(土)	運動・認識を学習するロボットを通じて人の知能を考える	小林祐一(静岡大学工学部准教授)	—

- 会場：あざれあ（静岡県男女共同参画センター） 6階大ホール
- 参加費：無料
- 時間：14:00～16:00
- 主催：静岡大学、読売新聞東京本社静岡支局

2 静岡大学・中日新聞連携講座「健康・医療の可能性を拓く」

回	開催日	タイトル	講師	参加者
1	9/12(火)	酵母の秘密を解き明かせ！ ～生命科学の発展を支える酵母たち	瓜谷真裕(静岡大学理学部教授)	—
2	10/10(火)	キノコは自然の化学工場 ～生命現象をつかさどる分子を求めて	河岸洋和(静岡大学グリーン科学技術研究所教授)	—
3	11/14(火)	光技術が開く医療の可能性 ～メディカルフォトリクススの最前線	三村秀典(静岡大学電子工学研究所長)	—
4	12/12(火)	医薬品開発を加速する分子のチカラ	鳴海哲夫(静岡大学工学部准教授)	—
5	1/16(火)	手術が変わる！ ～メディカルフォトリクススの新技術	山本清二(浜松医科大学理事・副学長/イノベーション光医学研究室)	—

- 会場：静岡大学浜松キャンパス
附属図書館浜松分館大会議室
- 参加費：無料
- 時間：18:00～19:30
- 主催：静岡大学、中日新聞東海本社



読売新聞連続市民講座第一回開催風景



読売新聞連続市民講座チラシ



中日新聞連携講座チラシ

2017年度地域連携応援プロジェクト 13件を採択

本学の学生・教職員が主体となり、地域の人々や団体、自治体等と協働で取り組んでいる、または新たに取組もうとする地域活性化につながる活動への支援を学内で公募しました。2017年度は18件の応募が

あり、本年度はそのうち13件を採択しました。これらの取り組みにより、学生・教職員の主体的な地域連携活動が促進され、地域とより密接に連携した静岡大学になることを期待しています。

採択したプロジェクト一覧

部局	代表者	プロジェクト名
人文社会科学部	藤井 真生	高校教員の教育力向上を目指す教員養成・支援プロジェクト「地歴教員養成講座」
教育学部	高橋 智子	小児科外来におけるコミュニケーションアートカードの制作
教育学部	竹下 温子	島田市伊久美の地域活性化に向けた商品開発（継続）
教育学部	池田 恵子	静岡市女性会館と多様なニーズを持つ団体との連携による防災力強化支援事業
教育学部	河村 道彦	磐田市の魅力を世界へ！地域と世界の人たちを繋ぐ発信・交流プロジェクト
教育学部	ヤマモト・ルシア・エミコ	湖西市における“つながりづくり”から始まる多文化共生
教育学部	大塚 玲	きんもくせい土曜教室（発達障害児の学習等支援活動）
教育学部	塩田 真吾	静岡市水見色地区での「子ども×起業家」プロジェクト
情報学部	杉山 岳弘	浜松市立水窪中学校の総合学習サポート事業「水窪ガイドブック合同制作プロジェクト」
情報学部	田中 宏和	障害者就労支援事業パート2
農学部	藤本 穰彦	安倍川源流における集落水道の参加型管理：「水の自治」から集落自治への学習活動
地域創造学環	山本 崇記	LGBTスピーカーの養成と啓発活動の推進
技術部	宮澤 俊義	学校では教えてくれない科学の実験と観察 ～地上最強生物クマムシの実験を通じての地域連携プロジェクト～

2017年度上半期（4月～8月）の事業報告

主催事業

地域連携応援プロジェクト 公募説明会/前年度成果報告会

2017年度「地域連携応援プロジェクト」の公募に際し、前年度のプロジェクトの成果報告発表を行いました。

- ・日時：2017年5月11日（木）14:30~16:00
- ・会場：[静岡キャンパス] 事務局別館1A会議室
[浜松キャンパス] イノベーション社会連携推進
機構棟1階カンファレンスルーム

※遠隔テレビシステムで2会場同時に開催

- ・参加者数：19人
- ・プログラム：

- 1 プロジェクト概要説明
- 2 プロジェクト成果発表グループ

①浜松市における自然・歴史観光のためのインタープリター育成教材の開発事業

代表者：杉山岳弘（静岡大学情報学部教授）

②静岡赤十字病院小児科外来における壁面制作プロジェクト

代表者：高橋智子（静岡大学教育学部准教授）



主催事業

静岡大学公開講座 in 沼津 「ふじのくにのホモ・サピエンス ～3万5千年前の遺跡から現代人的行動を探る～」

静岡県東部は、日本列島におけるホモ・サピエンスの出現期の研究で最も重要なフィールドの一つであり、これまでに重要な研究成果が蓄積されています。

明らかにされてきた研究成果が世界で進められている研究の中でどのような意味をもっているのか、全3回にわたり解説を行いました。

第1回 6/17 (土)

「ホモ・サピエンスの技術と能力とは何か
～世界各地で明らかにされている現代人的行動～」
講 師：山岡拓也（静岡大学人文社会科学部准教授）
受講者数：63人

第2回 6/24 (土)

「人類史最古の遠距離航海と土木工事～神津島産黒曜石と陥穴猟～」
講 師：池谷信之（明治大学黒曜石研究センター研究員）
受講者数：66人

第3回 7/8 (土)

「3万5千年前のハイテク狩猟具～台形様石器の実験考古学～」
講 師：山岡拓也（静岡大学人文社会科学部准教授）
受講者数：59人

開催時間：14:00～16:00

会 場：プラサヴェルデ407会議室

受講料：無料



第二回の講座風景

静岡市・大学連携事業

平成29年度市民大学リレー講座 「今、健康を科学する」

この事業は、静岡市内5大学と静岡市が協力して全5回の講座として実施するもので、このうち第4回を静岡大学が担当します。

第1回 8/26 (土)

「海と温泉の不思議な関係～健康づくりと楽しみ方～」
講 師：齊藤雅樹（東海大学教授）

第2回 9/16 (土)

「あなたを守るすばらしい皮膚の働き」
講 師：青木和恵（静岡県立大学教授）

第3回 9/30 (土)

「食の安全・安心を自ら知る～トレーサビリティ体験～」
講 師：川島美奈子（静岡英和学院大学教授）

第4回 10/14 (土)

「老いを科学する～老化と寿命はどこからやってくるのか?～」
講 師：丑丸敬史（静岡大学教授）

第5回 10/28 (土)

「健やか長寿の秘訣～運動・食事・メンタルのとのえ方～」
講 師：久保明（常葉大学教授）

開催時間：10:00～11:45

会 場：アイセル21

定 員：80名

参加費：無料



平成29年度市民大学リレー講座チラシ

地域課題解決支援プロジェクト進捗状況

地域の課題を公募し、解決支援を試みる「地域課題解決支援プロジェクト」も5年目に入りました。

本年度上半期に取り組んだ課題の進捗状況について報告します。

●南伊豆町

2月15日、南伊豆町で開催された「南伊豆を未来へつなぐ森里川海プロジェクト」キックオフ・フォーラムに岸本COC+コーディネータおよび阿部部門長が参加しました。

日本版CCRC（生涯活躍のまちづくり）事業への参画を求められ、廃校の活用や商店街の活性化などの地域課題が提案されました。

6月10日には、地域創造学環の学生3名と教員1名が南伊豆町周辺のジオサイトを視察しました。南伊豆町ジオパークビジターセンター、中木・吉佐美・田牛ジオサイト等を訪ね、南伊豆町の有する自然・景観を地域資源として活用する方策を考えました。

●松崎町

松崎町では地域創造学環1年生のフィールドワークが平成28年度後学期から始まりました。提案された「商店街の魅力発掘とにぎわい創出」、「防災と観光の融合」の2課題に対応した、2つのグループによるフィールドワークが行われました。

5月25日には、清水マリナートにて成果報告会を開催し、松崎町をフィールドワーク地とするグループが報告を行いました。



牛原山でのフィールドワーク



松崎町内の足湯整備を行う学生

●東伊豆町観光協会

昨年12月に開催した公開シンポジウム「地域課題から地域創造へ」に参加し、地域課題解決支援プロジェクトならびに東伊豆町での空き家再生プロジェクトに興味関心を示した学生9名と教員1名が2月27日に東伊豆町を訪問しました。

課題提案者であり、公開シンポのシンポジストでもあった地域おこし協力隊の荒武氏（芝浦工大院生時代に空き家再生プロジェクトを担当）、芝浦工大2年の関根氏をガイドに、空き家再生プロジェクトの成果として種々の事業を展開しているダイロクキッチン、現在改修が進められている東海汽船事務所跡「岬の館」を見学し、説明を受けました。

6月10日には、荒武氏のコーディネートにより、ダイロクキッチンにて東伊豆を学ぶ勉強会および懇親会が行われ、地域創造学環2年生3名と教員1名が参加しました。

東伊豆町の神主・稲岡氏、観光商工課森田課長、NPO法人ローカルデザインネットワーク、空き家改修プロジェクトメンバー、町内出身大学生との交流が行われました。翌11日は、東伊豆町第2回キンメマラソンのボランティア・スタッフとして活動しました。

東伊豆町役場とのかかわりの中で、細野高原すすき祭り等のイベントへの参加・参画が決まるなど、本学と東伊豆町のつながりが深まりました。



ダイロクキッチン



懇親会の様子

そのほか、三保松原、菊川市、国立中央青少年交流の家、浜松など複数の地域で課題解決支援を展開しています。

COC+ 地域課題解決支援プロジェクト・研究フォーラム 「伊豆半島の学習・交流・協働拠点づくりを考える」

地域の課題を公募し、地域と大学が協働で解決支援を試みる「地域課題解決支援プロジェクト」では、賀茂地区からの課題が全体の約4割を占め、伊豆半島南部の人口減少・過疎化の進行がうかがえます。同様に石川県の奥能登においても人口減少が大きな課題となっています。本フォーラムでは、伊豆半島と能登半島それぞれの課題と取組を報告し、課題解決のあり方を考えました。当日は町民、大学生、高校生ら60名が参加しました。

- ・日時：2017年8月10日（木）14:00～17:30
- ・会場：南伊豆町湯けむりホール
松崎町交流拠点施設ふれあいとふや。（遠隔テレビシステム）
- ・プログラム：
 - [報告1]
「能登半島の先端、人材養成プロジェクト10年の歩み」
金沢大学地域連携推進センター 宇野文夫
 - [報告2]
「伊豆半島の地域資源とジオパーク～ジオパークは地域の未来を変えるか？～」
静岡大学教育学部・地域創造学環 小山真人
 - [報告3]
「学生参画による地域連携の取り組み」
静岡大学学生支援センター 宇賀田 栄次
静岡大学フューチャーセンターディレクター
 - [報告4]
「地域創造学環フィールドワークの取り組み」
静岡大学イノベーション社会連携推進機構 皆田 潔
地域創造学環 2年生
- [パネル・ディスカッション]
パネリスト：報告者、課題提案者、平岡義和（静岡大学地域創造学環）
コーディネーター：阿部耕也（静岡大学イノベーション社会連携推進機構）



市民開放授業

静岡大学市民開放授業は、学生が受講している正規の科目の一部を一般市民に開放するものです。正規学生と一緒に受講していただきますので、若い世代の学生と交流を持ちながら学ぶことができます。

2017年度前学期の開講科目数・受講者数の状況は下表のとおりです。

開講科目数			受講者数		
静岡キャンパス	浜松キャンパス	合計	静岡キャンパス	浜松キャンパス	合計
186	37	223	134	22	156

企画実施委員会

当部門に組織されている企画実施委員会では、運営事業や本学の地域連携・生涯学習のあり方等について審議するとともに、公開講座の企画・立案・実施に関して審議を行っています。

2017年度の委員は次のメンバーで構成されています。

阿部 耕也	部門長・教授
石川 宏之	部門准教授
皆田 潔	部門特任准教授
笠井 仁	人文社会科学部教授
渋江かさね	教育学部准教授
岡田 安功	情報学部教授
三重野 哲	創造科学技術大学院教授
戸田三津夫	工学部准教授
今泉 文寿	農学部准教授
松尾由希子	大学教育センター准教授
水谷 洋一	地域創造学環教授
村本 定則	学務部教育連携室長
大谷 悦子	部門パート事務職員
牧野 宏美	部門パート事務職員

地域と大学 第35号

発行日——2017年8月31日

発行——静岡大学イノベーション社会連携推進機構
(地域連携生涯学習部門)

編集——牧野 宏美

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836
(事務局別館2階)

TEL: 054-238-4817 FAX: 054-238-4295

E-mail: LLC@ipc.shizuoka.ac.jp

URL: www.lc.shizuoka.ac.jp/

(事務局) 学務部教育連携室 ☎ 054-238-4056